

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 2 区分
 【発行日】平成 17 年 5 月 26 日 (2005.5.26)

【公開番号】特開 2004-172625 (P2004-172625A)
 【公開日】平成 16 年 6 月 17 日 (2004.6.17)
 【年通号数】公開・登録公報 2004-023
 【出願番号】特願 2003-391069 (P2003-391069)
 【国際特許分類第 7 版】
 H 0 1 L 21/027
 【F I】
 H 0 1 L 21/30 5 1 6 B

【手続補正書】
 【提出日】平成 16 年 7 月 7 日 (2004.7.7)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】請求項 1
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【請求項 1】

前記ステップ c) は、さらに以下のステップ、すなわち

- i) トラジェクトリーデータを受け取るステップと、
- ii) トラジェクトリーデータに基づいて統合的な位置信号を作成するステップと、
- iii) フィルタリングされた位置信号を作成するために、トラジェクトリーデータからの初期位置信号を用いて統合的な位置信号をフィルタリングするステップと、
- iv) 補間された位置信号を作成するために、初期位置信号を用いて、フィルタリングされた位置信号を補間するステップと、
- v) 伝播遅延と位相シフトに対する補償のために、補間された位置信号を遅延させるステップと、
- vi) 補間された加速度信号を作成するために、トラジェクトリーデータからの加速状態信号を補間するステップと、
- vii) 伝播遅延と位相シフトに対する補償のために、補間された加速度信号を遅延させるステップを含んでいる、請求項 1 記載の方法。

【手続補正 2】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】請求項 2
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【請求項 2】

コンピュータで読み取り可能な前記第 3 の プログラムコード手段に、さらに以下のプログラムコード手段が含まれており、すなわち

- i) コンピュータに、トラジェクトリーデータを受け取らせる、コンピュータで読み取り可能なプログラムコード手段と、
- ii) コンピュータに、トラジェクトリーデータに基づいて統合的な位置信号を作成させる、コンピュータで読み取り可能なプログラムコード手段と、
- iii) コンピュータに、フィルタリングされた位置信号を作成するために、トラジェクトリーデータからの初期位置信号を用いて統合的な位置信号をフィルタリングさせる、コンピュータで読み取り可能なプログラムコード手段と、
- iv) コンピュータに、補間された位置信号を作成するために、初期位置信号を用いて、フ

ィルタリングされた位置信号を補間させる、コンピュータで読み取り可能なプログラムコード手段と、

v) コンピュータに、伝播遅延と位相シフトに対する補償のために、補間された位置信号を遅延させる、コンピュータで読み取り可能なプログラムコード手段と、

vi) コンピュータに、補間された加速度信号を作成するために、トラジェクトリーデータからの加速状態信号を補間させる、コンピュータで読み取り可能なプログラムコード手段と、

vii) コンピュータに、伝播遅延と位相シフトに対する補償のために、補間された加速度信号を遅延させる、コンピュータで読み取り可能なプログラムコード手段が含まれている、請求項 1 8 記載のコンピュータプログラム製品。